

妊婦さんご活用ください

神奈川県寒川町、横浜市鶴見区

マタニティマーク配布で工夫



妊娠初期であることを知らせるマタニティマークの普及をめざそうと、神奈川県内では工夫を凝らしたキーホルダーなどの配布が反響を呼んでいる。

寒川町のストラップ

【写真左】は、バッグなどに取り付けるマークが夜間でも目立つよう、光を反射する反射板になっている。さらに、出産後にも赤ちゃんの散歩などで利用できるように日中の紫外線量の目安が分かるカラーキューブ付き。紫外線量によってカラーキューブの色が変わる。公明党の小島栄子町議が2006年6月定例会の一般質問で、マタニティマークの啓発や導入を訴えていた。

一方、横浜市内で唯一、鶴見区で配布されているキーホルダー【写真右】は、区の独自性を出そうとマークに区名とマスコットキャラクター「ワックくん」のロゴが入っているのが特徴。公明党の鈴木秀志県議と牧嶋秀昭市議が昨年夏、鶴見区長に積極的な配布を申し入れていた。牧嶋議員は「市

内全域でも配布が進むよう、さらに進めていきたい」と意欲を燃やしている。